

事業所名		放課後等ディサービス My style中峠				支援プログラム（参考様式）		作成日	2026年	8月	9日
法人（事業所）理念		自分らしく生きる自由を育てる。 お子さま一人ひとりが「自分の好き」「自分の得意」に気づき、実践を通して力を育み、将来を自ら選択できるよう支援します。									
支援方針		児童発達支援と放課後等ディサービスの多機能型として、未就学期から学齢期まで切れ目のない一貫した支援を行います。 一人ひとりの特性を理解し、自己肯定感を高めながら「強み」を伸ばす療育を実践します。未就学期は日常生活の基本動作と集団生活への適応を、学齢期は社会性・マナー・コミュニケーションなど将来の自立と就労につながる力の習得を中心に支援します。 学校・家庭・地域と連携し、就学移行期の伴走を含む継続的な支援を行います。									
営業時間		10時	0分	19時	0分	送迎実施の有無		あり			
		支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	・ 来所時の健康観察と検温で体調変化を把握し、変化時は保護者へ迅速に連絡。 ・ 定期的な換気・消毒、手洗い指導など感染症対策・衛生管理の徹底。 ・ 買い物・調理体験を通して、年齢相応の身辺自立・生活習慣の習得や金銭管理を支援。									
	運動・感覚	・ 障害特性や発達段階に応じた運動プログラムと屋外活動・外出により、粗大運動と地域での生活力を育てる。 ・ パズル・積み木・ブロック・工作・製作など指先を使う活動で微細運動と巧緻性を高める。 ・ 感覚遊びを活用した感覚統合支援。 ・ 感覚特性に配慮し、静養室等の個別空間やイヤーマフを用いて安心できる環境を整備。									
	認知・行動	・ 活動スケジュールの視覚的提示（スケジュールボード・タイマー等）で見通しと時間感覚を育てる。 ・ 興味関心に基づく学びの機会を提供し、注意力・記憶力・問題解決能力を育成。 ・ パズル・ゲーム・ボードゲームで記憶力・集中力・空間認知を育てる。 ・ 宿題支援および苦手単元の個別学習支援。ITスキル（タイピング・動画編集等）の習得を通して将来役立つ力を育てる。									
	言語コミュニケーション	・ 感情カード・絵カードを用いた気持ちの言語化と、適切な伝え方の支援。 ・ 小集団活動での発表や会話を通して、語彙力・会話力と相互理解を育てる。 ・ 必要に応じて発声・発語の個別支援、構音・音韻トレーニング、視覚的なコミュニケーションツールを活用。									
	人間関係社会性	・ 褒める文化により自己肯定感を育てる。 ・ SST（ソーシャルスキルトレーニング）で他者との関わり方・ルール理解を深める。 ・ 協働活動・集団あそび・季節行事を通して、協調性と社会性の向上を目指す。 ・ あいさつ・マナーなど、年齢と発達段階に応じた社会性の習得を目指す。									
家族支援		・ 定期的なモニタリングと個別面談で、お子さまの成長や課題を共有。 ・ 家庭で取り組める療育の助言・情報提供。				移行支援		・ 学齢期以降の進路相談・自立準備をサポートし、卒業後も切れ目なくつながるよう関係機関と連携。 ・ 多機能型の強みを活かし、同一事業所で就学前後を継続支援。			
地域支援・地域連携		・ 学校・保育所・幼稚園・医療機関・行政との情報共有や担当者会議への参加。 ・ 自立支援協議会・こども部会等への参加。 ・ 障害児相談支援事業所との連携。				職員の質の向上		・ 事業所内研修・外部研修への参加（年間研修計画に基づき実施）。 ・ 療育・制度・5領域に関する読み合わせ・ケース会議の実施。 ・ 強度行動障害支援者養成研修等の専門研修の受講を計画的に進める。			
主な行事等		・ お誕生日会 ・ 季節行事（節分・ひな祭り・こどもの日・七夕・ハロウィン・クリスマス など） ・ 避難訓練 ・ 防災訓練									